

社会で活躍するためのICT活用法～18才成人化を控えて～

開催地：静岡

グループ：

1 班

行動第一

(とりあえずやってみよう)

日付

2018. 09.24.

子どもと成人の違い

法律で区切られている

社会で活躍するとは？

他人に認められる

社会人として必要なICT活用方法とは？

通信システムの整備



5G

子どもと成人の違い

法律で区切られている

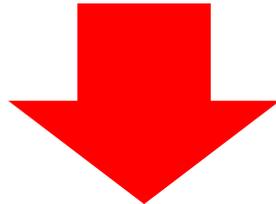
子ども：庇護されている

そもそも責任を負う権利がない

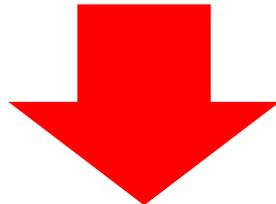
成人：責任を負う権利が発生する

社会で活躍するとは？

他人に認められる



影響を与えられて、ライバルが増える



自分の考えを実行して、成果を出す

社会人として必要なICT活用方法とは？

通信システムの整備

5G＝早くて、どこでも、たくさん
通信ができるようになる

- 自分が想像する夢はなんでも叶えられる
- 活用方法はやってみること

まとめ：社会で活躍するためのICT活用法 ～18歳成人化を控えて～

自分の想像することはできるようになるが、いい面も悪い面もある。

→そして責任を負わなければならない。

→認められるためには、経験を積むことで、正しい判断ができるようになる。

社会で活躍するためのICT活用法～18才成人化を控えて～ 日付 2018. 9.24

開催地: 専門学校静岡電子情報カレッジ森下キャンパス

ICTを使って新たな居住地の開発

グループ: 2班

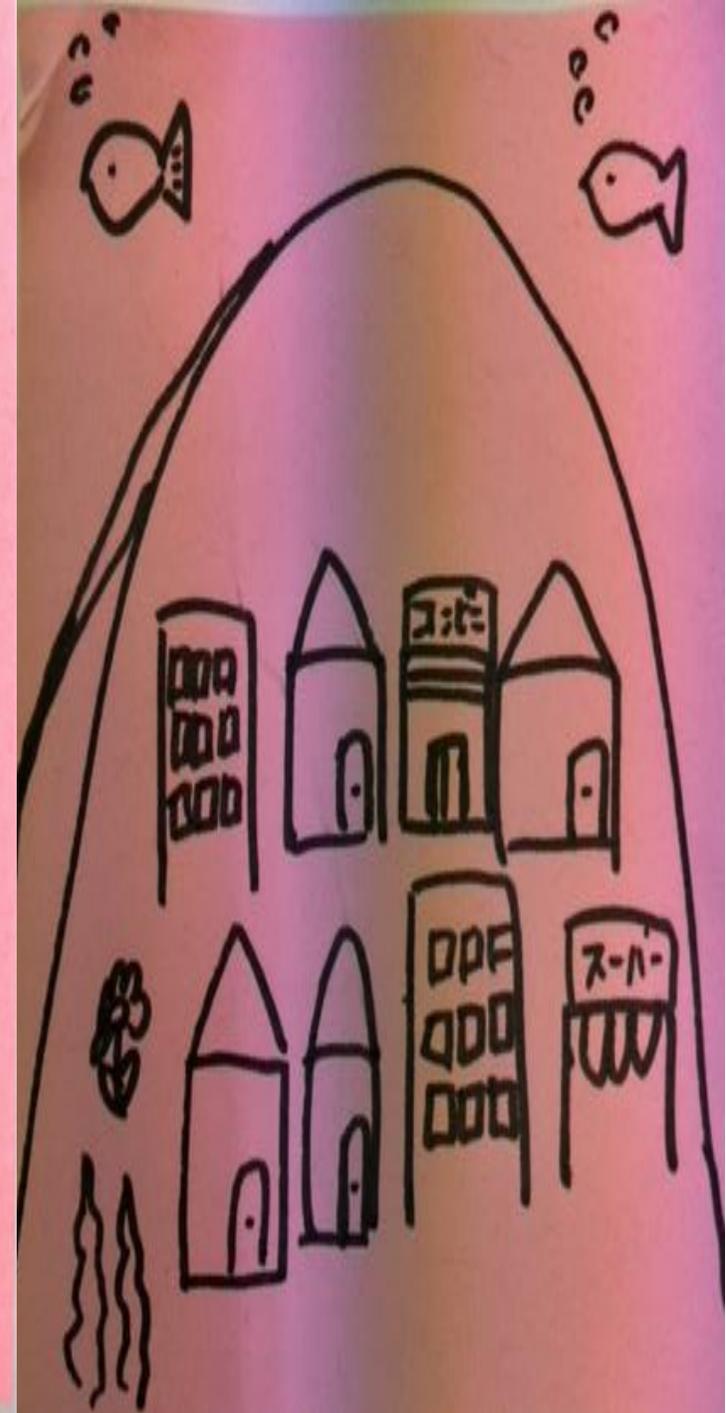
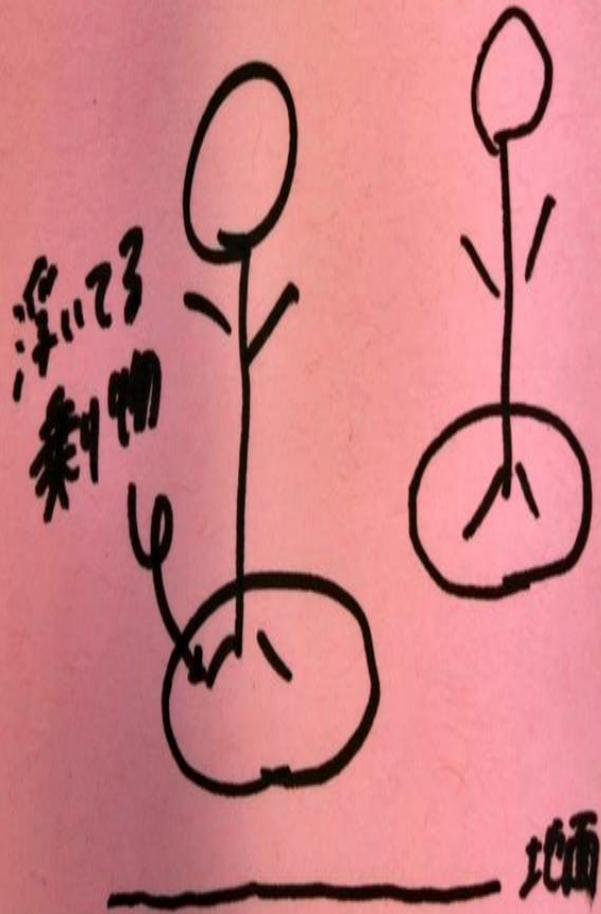
最近、震災が増えていますよね？

災害が起こると復旧に時間がかかります。
また、インフラが崩壊してしまう可能性があります。

“地震予測”は完全ではない

事前に災害を受けない方法を考えました。

空中都市や海底都市



被害を事前
になくす

人口増加する地球の人
間の居住区を作るため

- 安定した食料を得るのが難しい
- 物資を運搬するのが困難

人工的に植物、牧畜を育てる

自動運転の海の宅配便を使う 空のドローン

ご清聴ありがとうございました

。

社会で活躍するためのICT活用法～18才成人化を控えて～

グループ: 愉快的仲間たち

大人って何？

～私たちが社会で活躍するには～

2018. 09. 24

子供と大人の違い

大人とは、自分のことを自分で決めて、子供を守る(守れる)

子供は、ある程度制限され、その範囲内で自分でできめ、守られる存在

違い→自己責任、自己判断ができるかどうか

大人として社会で活躍するとは？

コミュニケーション能力や、積極性を持ち、人に認められること

社会人として必要なICT活用法とは

① 言葉の壁をなくす

メリット・・・ 異国の人とでも、円滑に話し合いができるため、国際問題などの解決に貢献できる

デメリット・・・ コストがかかる

社会人として必要なICT活用法とは

② 成人申請

メリット・・・ 中高卒業後、就職している成人ができることを必要としている人には、暮らしやすい

デメリット・・・ 成人の区切りが分かりにくくなる

社会人として必要なICT活用法とは

③ 議論の機会を作る

具体例 住民がネットで国会に参加する
議員の人数を減らす

メリット・・・ 国民がネットで参加することで、国民の意見がより反映され、議員の人数を減らすことにより、より内容の濃い討論が円滑に進む

**デメリット・・・ 荒れる、トラブルリスクが大きい
実現に時間がかかる**

まとめ

これら三つの活用によって、コミュニケーション能力や、積極性を持つことができ、私達は、社会で活躍することができるようになる。